



昭和47年7月15日 No. 38

## 新議事堂で

### 六月定例会開く

六月定例会は、六月二十三日から七日間の会期で開かれ六月二十九日に終わりました。

審議されたものは、市長提案の公営住宅・小中学校建設、下水道関係工事の請負契約締結議案を始め、条例の一部改正、人事議案など五十八件と、議員提出議案五件、および公有水面埋立諮問四件です。

このうち、市長提出議案五十五件と公有水面埋立諮問四件は、関係常任委員会で慎重に審議され、いずれも原案どおり可決しました。

また、松浦助役の退職に伴う田鍋秀則助役選任などの人事議案三件も同意しました。

議員提出議案五件については、「日中国交回復、貿易拡大ならびに定期航路開設促進に関する決議」を万場一致で可決、そのほか一議案を可決、三議案を否決しました。

なお、行政区調査特別委員会の庁舎建設に関する最終報告、および北九州港管理組合議会議員の選挙も行なわれました。





**質疑応答**

六月二十三日から三日間、本会議場で十四名の議員が、議案に対する質疑や一般質問を行ないました。以下、市民生活に関係深いものをとりあげました。

**PCB汚染**

**対策を急げ**

議員 PCB汚染が社会問題となつて一年になるが、カネミ油症事件はその恐ろしさを実証したものである。本市も最近になってやっと汚染対策にのりだしたが、市内のPCB使用工場を公表するとともに、使用を中止させるべきではないか。

衛生局長 食品中のPCBについては以前から準備調査を進めていたが、厚生省で統一の検査方法が示めされたので、これに基づき本市の汚染状況を調査することになった。広範にわたる調査になるので関係各局とプロジェクトチームを作り幅広い調査をすることにしてはいる。

**水道個別メーターの早期設置を**

—市営住宅—

議員 市営住宅のなかで、現在二、八三三戸が水道の共同メーターを使用している。団地の人々

は、自分が使った水量がはつきりしないまま料金を支払っていることから、一日も早く個別メーター設置を願っている。

**建築局長**

入居者から強い要望もあり、本年度から老朽化した給水管の取替工事に併せて順次個別メーターを取付けることにしている。

**電話の市内通話**

を急げ

—香月・木屋瀬地区—

議員 香月・木屋瀬地区は、現在(〇九三)を回さねば市内通話ができない。両地区住民からも強い要望がでていいるが、早急に実現できないか。

市長 四十三年の市内料金一本化の際、両地区だけが取り残されたが、当時の事情から止むを得なかった。その後も陳情や交渉を続けてはいる。

先般、公衆電気通信法の改正があり、通話区域を拡大する制度がとられたので、両地区にこの制度

を実行されるよう電々公社に要求している。

本年度いつばいに関係工事ができ、その時に一本化するのとことであつたが、予定どおり進められるよう更に交渉していきたい。

**工場と住宅地の間に緑地帯設置を**

—公害防止対策—

議員 公害のない工場地帯、これが市民の願いである。

このため、住工混在地区の解消はもとより、工場と市街地の間に植林地帯を設けるなど公害防止の具体策を講ずる必要があると思ふが、どのように考えているか。

**市長**

公害防止計画の中に、住居と工場の混在を防ぎ、その間に幅広いしや断地帯を設ける構想を入れてはいる。たとえば、戸畑沖合八幡陣山などは工場移転を進め、住居と工場の間緑地帯を設けることにしている。

響灘、新門司は、工場負担で大幅なしや断地帯を設けることになつており、他の工場地帯にも積極的に取り上げたいと考えている。

**地元業者育成のための**

方策を講ぜよ

—建設事業の発注—

議員 建設事業が大幅に進められてはいるが、これら工事の請負契約の傾向を見ると、手持工事をもつ業者や特定業者の契約が多く見

られる。地元業界の正常な発展、育成などの見地から適当な措置をとる必要があると思ふが、どのように考えているか。

**建設局長**

下水道など特殊な技術を要する工事の発注は、施工能力を有する業者を選び公平な指名を心がけている。また、手持工事があつても工事が完全に履行できる状態であるかどうか十分に検討し、完成できると判断した場合は入札に参加させている。

**自然環境の保全対策は**

—風致地区の宅地造成問題—

議員 本市の風致地区は、足立山、風師山など十四箇所あり、全市の四割近くを占めているが、特に市街地に接する風致地区の宅地開発がふえ、足もとから急速に緑が失なわれている。このような風致地区の保護については、どのような具体策をたてているのか。

**市長**

小倉砲台山の宅地造成が問題となつてはいるが、さきに制定された市の風致条例では宅地造成にストップをかける法的な力がないため苦慮している。

現在、宅造業者と自然環境を進めただけ破壊しないよう話し合いを進めているが、根本的には、風致地区の大部分を北九州国定公園に組み入れれば自然公園法による強度な規制ができるので、指定について国に一層働きかけたい。

**早期発見のために 常時検診体制を**

—ガン予防対策—

議員 市が毎年実施しているガンの集団検診は、受診率が低く、市民の健康管理のうえからも憂慮すべきことである。

ガンは早期発見が特に重要であるところから、医療機関に委託している検診業務を市立ガンセンターで常時おこない、市民の利便に応えたらどうか。

**病院局長**

ガンセンターの市民の利用度は非常に高く、胃カメラなどによる検査も受付後二、三日かかっている状態であり、集団検診を常時おこなうことは現体制では無理である。

**ガンセンター**

としては、高度な医療器具で難病の治療、精密検査という方面で使命を果したい。

**門司駅周辺の**

再開発計画はないのか

議員 門司駅周辺の再開発に關し次の諸点を伺いたい。

①電車通りの旧三号線は街路計画も一貫せず放置されたままであるが、街路計画はどのようになっているのか。

②大里から新門司に通じるトンネル道路が計画されているが、どのようになっているのか。

③門司駅と一九九号線を結ぶ道路を作る考えはないか。



市長 ①旧市時代に一部拡幅したままになっているが、地元民からも要望が出されており、交通状態をならみ合わせながら将来拡幅したいと考えている。

②大里新町―上藤松―新門司へのトンネルルートは確定した計画があるので、新門司開発と交通需要の伸びかたを見て手がけたい。  
③後背地は地理的にも狭いし、民家の立ち退きまでして計画する必要があるか検討はしてみたい。

移転計画をたてよ

八幡城山地区―

議員 公害防止計画案に城山地区の移転問題が取り上げられているが、城山地区一、一五四世帯について調査したところ、色々な条件はあるものの、移転賛成が大半を占めていることが分った。被害に悩む市民のためにも、市が綿密な調査と方針を早急に打ち出し、市民の意見を尊重した方向にもって行くべきだと思うが、どのように考えているか。

市長 地元代表者の要望は、最近まで学校の存続と建替えであったが、調査結果を見ると、地元民の意見が急速に移転へと傾いたものと考えられる。

今後の施策にあたっては、移転を重点におき進めなければならぬと思うが、移転先などむづかしい問題もあり、二、三年では解決

しないとと思う。移転計画は、相当の準備と必要な財源の裏付けをもってしなければ、かえって地元民を混乱させることになる。調査によって集約された住民の要望を受け、十分実行可能な計画をたてたい。

貨車引込線の廃止を

―旧十条製紙専用貨物線―

議員 小倉区の旧十条製紙貨物専用線は、現在一社が利用しているが、小倉西部の住宅街を横切っており、また付近の交通渋滞の原因ともなっていることから、関係住民などから廃止の要望が出されている。利用状況も極めて低いことから、関係者の理解を求め国にも払い下げを申請し、跡地を道路敷、公園に活用してはどうか。

市長 利用されてはいるが、これは自動車に切り替えられると思われるので、関係工場と話し合いを進めたい。廃止された場合の跡地利用は、住民のために有効に使えるよう考えたい。

閉山対策を急げ

―日炭問題―

議員 閉山に伴う鉱害復旧や開発計画などについては、議会でも急ぐよう要請しており、また陳情や要望も出されているが、今日まどどのように取り組み、今後いかに処理しようとしているのか。

市長 鉱害復旧については通産省に特別な配慮を要望している。

また、市の全般的な地域開発を含めた基本構想を出すよう要求されている。さきに委託していたこの調査報告ができたので、今後これを十分に検討し、議会の意見も聞き、最終的なまとめをしたい。

当該地区はまだ地盤が安定した状態ではないので、計画を実施するのは昭和四十九年度以降になると思う。それまでの緊急な問題については、関係者と協力しながら住民の不安のないような体制をとりたい。

全面的開放へ

積極的な努力を

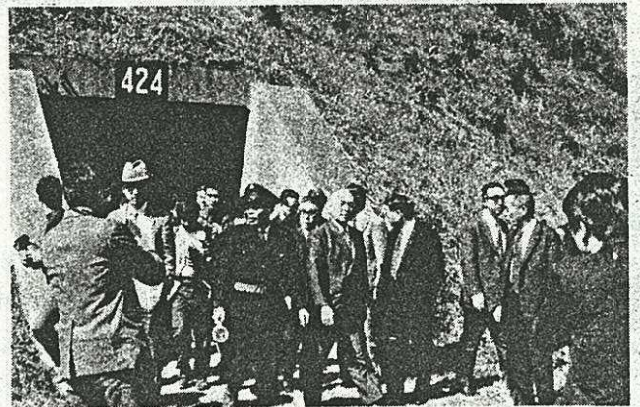
―山田弾薬庫問題―

議員 山田弾薬庫の全面的開放は百万市民の願いである。自衛隊に引き継がれる可能性の多い情勢の中で、交渉の経過はどうなっているのか。

また、市長が市民の先頭に立ち、市民運動として返還に努力すべきと思うが、どう考えるか。

市長 議会での全面的返還決議は百万市民の声が集約されたものと考え本問題解決に努力している。公式的な具体策は示めされていないが、色々なルートを通じ国に

山田弾薬庫を視察する議員



に重要な発育期に大きな影響をもたらしている。これら幼児をもつ家庭の経済的負担と不安解消のため、三歳以下の乳幼児の医療費無料化を実施する考えはないか。  
市長 本市は、すでに他の指定都市にさきかけて三歳児の無料検診制度、その他育成医療という形の無料化なども実施している。全般的な無料化はすぐに行なう考えはないが将来の検討課題としたい。また、来年度から公害被害者救済の措置をとる予定であり、公害による被害であれば無料の枠に入れると考える。

公害防止

計画について

働きかけている。ただ、国の防衛という問題につながっており、無条件に払下げられるかどうか樂觀は許さない。  
今後ともあらゆる機関に積極的な折衝を続けるが、市議会の一層のご協力をお願いしたい。

三歳児以下の医療費

無料化の考えはないか

議員 市内小中学校の児童生徒は、百人中二・七五人が呼吸器疾患に悩まされ、その発病時期は三歳以下の幼児期に集中し、その原因が大気汚染といわれている。このように、公害は心身の発達

議員 公害防止計画は、公害を絶滅し市民に快適な生活環境を保障する長期的かつ実現可能なものでなければならぬが、今回作成された原案を見ると、国の基本方針を踏襲しただけで公害に対する意欲がみえない。どのような基本姿勢で計画策定にあたったのか。  
市長 この計画は、市の今後十年間にわたる公害防止の基準となる基本計画である。公害は、今後の施策の中で最も重要な事項であると考えている。公害対策は実効が上らなければならぬ。まず国の環境基準を完全に達成するという方向で進みたい。

Handwritten marks and numbers at the bottom of the page, including '15' and some scribbles.



# 常任委員会の 審査から

各常任委員会は、六月二十七日から二日間にわたって開かれ、工事情負契約締結、条例の一部改正議案など五十五件、および公有水面埋立諮問四件を審議しました。

各常任委員会とも活発な論議がかわされましたが、次のような要望を付し、いずれも原案どおり可決すべきものと決めました。

(一)皇后崎清掃工場の建設にあたっては、公害防止に万全を期し、地域住民に迷惑をかけることのないよう十分注意すること。

(二)常備消防力の充実とともに、消防団員の確保および待遇改善についても十分に検討すること。

(三)工事情負契約に関連し、これらの工事の大半を大手企業が落札しているが、工事内容によっては地元業者でも施工可能なものも見受けられるので、今後の契約にあたってはできる限り地元業者に施工させる道を開くこと。

また、地元業者の育成発展という見地から、一業者ではできないと思われるものについては、共同企業体方式等の指導を積極的に行なうなど、地元業者育成に十分配慮すること。

(四)学校建設にあたっては、通学道路の整備等も併せておこなうなど、児童生徒の交通安全対策に万全を期すること。

六月定例会で、次のとおり決まりました。

北九州市助役 (敬称略)

北九州市監査委員 田 鍋 秀 則

北九州市固定資産評価審査委員 橋 本 萬 寿 雄

北九州市農業委員会委員 (市議会推薦) 田 中 善 一

農業委員会委員 (市議会推薦) 芳 野 直 行

門司区農業委員会委員 中 島 正 武

安 藤 一 生

牧 藤 國 憲

柳 保 利 男

久 保 利 男

山 内 義 勝

権 堂 義 治

渡 辺 讓 治

小倉区農業委員会委員 山 内 義 勝

小倉区農業委員会委員 山 内 義 勝

# 人事の紹介

若松区農業委員会委員 上 野 博 郷

樋 上 静 雄

重 田 幸 吉

城 戸 武 夫

大 庭 照 雄

吉 田 照 雄

田 川 長 佳

八幡区農業委員会委員 加 賀 政 茂

古 賀 一 好

安 増 庫 衛

浅 井 重 光

比 惠 島 重 光

北九州港管理組合議会議員 木 村 憲 証

木 村 憲 証

木 村 憲 証

佐 々 木 憲 証

本 庄 光 宏

岡 田 義 信

服 部 嘉 夫

新 井 勝 美

城南中学校教育条件整備について

陳情 採択されたもの

ガードレール設置等について (八幡区神山町三丁目)

公園の側溝設置について (若松区山ノ口公園)

公衆電話ボックスの設置について (小倉区山路町)

歩道設置について (門司小学校附近)

砲台山の自然保護について

大里東公民館新設について (門司区)

市民プール建設について (八幡区永大丸)

吉田第二小学校 (仮称) の建設について (小倉区)

沼地区の小学校建設について (小倉区)

競輪、競艇場の冷暖房設備について

大阪売業者の騒音、臭気の取締りについて (小倉区木町二丁目)

# 二議員の表彰

さる5月30日、全国市議会議長会から、次のかたがたが永年勤続議員として表彰されました。

市議会では、6月定例会に先だち、議場で表彰状の伝達が行なわれました。

(議席順)

- 議員 天 野 志 津 雄
  - 議員 明 石 清 彦
  - 議員 中 島 武 武 人
  - 議員 花 田 武 人
- 議員 天 野 志 津 雄
- 議員 明 石 清 彦
- 議員 中 島 武 武 人
- 議員 花 田 武 武 人

# 清願と陳情

## 請願 採択されたもの

- 交通信号機の設置について (戸畑区小芝三丁目)
- 浴場水道料金金のすえ置きについて
- 精神薄弱者のための総合共同作業場の設置について
- 海苔加工用水対策について (小倉区曾根)
- 市立病院の給食費引上げについて
- 道路舗装について (小倉区到津本町一丁目)
- 道路舗装の補修について (八幡区西本町三丁目)
- 道路舗装の補修等について (八幡区屋敷町四丁目)



## 陳情 採択されたもの

- ガードレール設置等について (八幡区神山町三丁目)
- 公園の側溝設置について (若松区山ノ口公園)
- 公衆電話ボックスの設置について (小倉区山路町)
- 歩道設置について (門司小学校附近)
- 砲台山の自然保護について
- 大里東公民館新設について (門司区)
- 市民プール建設について (八幡区永大丸)
- 吉田第二小学校 (仮称) の建設について (小倉区)
- 沼地区の小学校建設について (小倉区)
- 競輪、競艇場の冷暖房設備について
- 大阪売業者の騒音、臭気の取締りについて (小倉区木町二丁目)

# 六月定例会で決まった おもなもの

- 北九州市農地課税審議会条例
- 市街化区域内のA農地が現に耕作されているかどうか、または将来とも農地として残すことが適当な農地であるかどうかなどを判定するため、市長の諮問機関として設置。
- 北九州市都市公園、霊園および駐車場の設置および管理に関する条例の一部改正
- 門司区蕨ヶ丘球場、八幡区岡田球場の夜間照明設置。
- 北九州市住宅改修資金貸付条例の一部改正
- 貸付金額を七十万円から八十万円に引き上げるもの。
- 北九州市教育施設の設置および管理に関する条例の一部改正
- 沖田プール (八幡区永大丸) 設置。
- 土地の取得について
- 小倉南区役所用地、朽網小学校移転用地等を買入れられるもの。
- 市道路線の認定について
- 門司区寺内東源寺第五号線ほか一四一路線。
- 工事情負契約締結
- 高層公営住宅建設
- 門司区大里団地、小倉区今村団地。
- (総工費十二億七千万円)
- 小学校新築
- 朽網小学校、仮称第二広徳小学校、仮称第二大原小学校、仮称首根第二中学校。
- (総工費四億六千万円)
- 下水道関係工事
- 藤ノ木排水区藤ノ木主要幹線管渠築造、浅野町ポンプ場築造など十二件。
- (総工費二十七億二千万円)